

2026 年度学部一般選抜の解答例

※掲載しているものは解答例と問題の傾向と対策になります。個別の問い合わせに対しては対応いたしかねます。

※公開している文書・画像等のコピー及び転載は禁止します。

英語の傾向と対策

2025年度一般選拔出題一覧

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期／ A日程 1月28日 問題▶p.12～	【I】	会話文	会話の流れに適合する文を空所に補充
	【II】	語彙・文法	単語・文法・語法（假定法・動名詞・強調・比較など）
	【III】	語整序	火星での生活についての英文の流れに沿う内容となるように単語を並べ替える
	【IV】	長文読解	「映画鑑賞についてのメッセージ」「ギターレッスンの告知文」について、内容に適した英文の完成
	【V】	長文読解	培養鶏肉の認可をテーマとする英文についての英問英答
一般前期／ B日程 1月29日 問題▶p.104～	【I】	会話文	会話の流れに適合する文を空所に補充
	【II】	語彙・文法	単語・文法・語法（時制・不定詞・関係詞・比較など）
	【III】	語整序	動物の絶滅危機についての英文の流れに沿う内容となるように単語を並べ替える
	【IV】	長文読解	「帰宅が遅れることに由来する頼み事のメッセージ」「実験に参加するボランティア募集の告知文」について、内容に適した英文の完成
	【V】	長文読解	飲み水をめぐる争いをテーマとする英文についての英問英答

傾向 会話文・文法・長文読解など幅広く出題 難易度は標準だが問題量は多め

一般前期入試A日程B日程は、いずれも2024年度から大問が1問減り、大問5問構成となった。すべてマークシート方式の出題で、今年度のマーク数は両日程とも前年度から5個減り、31個。各年度の問題構成は若干の変更があるが、会話文完成、語彙・文法、語整序英作文、長文読解が中心となっている。2025年度では【IV】のメッセージ、告知文を題材とした出題が新傾向として加わっていた。

いずれの日程も難易度は標準的で、高校で学習する内容を踏まえた基本的な内容の設問が大半だが、試験時間に対して問題数は少なくなく、スピードが求められる。語彙・文法問題は設問数が多いので取りこぼしがたいよう得点したい。その上で、1問あたりの配点が高い他の問題に時間的余裕をもって取り組めるかがカギとなる。

対策 基本的な単語・文法知識の定着と読解スピードの向上

会話文問題では会話文特有の表現を身に付けるとともに、回答から質問を推測する練習をしておくことが有効な対策となるだろう。

語彙・文法分野は、大問として1問出題される上に、長文読解や英作文の基礎となるものであるから、確実にマスターして臨みたい。語彙は、基本的な単語を幅広く正確に覚えておく必要がある。文法は、時制、假定法、準動詞、関係詞、接続詞、前置詞、比較などの重要事項を文法の問題集などを使って確認しておきたい。

整序英作文対策では、上記文法の重要事項についての体系的理解を確立した上で、動詞と文型を意識したトレーニングが効果的である。迷った時に、①動詞は何か？②取り得る文型は何か？を突破口にできるようにすることで得点力アップを目指して欲しい。

長文読解では、速読力を付けるとともに、細部にも気を配る精読力を付けることが重要である。選択肢では、本文

中の一文の言い換えが問われることが多いが、段落や本文全体の理解や、登場人物の感情など推測が必要なことが問われることもある。

長文読解対策としては、可能な限り多くの英文を読んで、選択肢を的確に判断する能力を養うことが必要不可欠だが、その前提として、小手先のテクニックに頼るのではなく、単語・熟語や文法・構文の知識をしっかりと身につけておきたい。くれぐれも、「単語を拾ってなんとなく想像して解答する」という事にならないようにして欲しい。英語が日本語と大きく体系の異なる言語である以上、こうした基礎的な知識があって初めて本格的に読解や作文もこなせるようになるのである。

長文に苦手意識がある受験生へのアドバイスとして、まずは単語・熟語の暗記と並行して、文法の学習を進め、体系的な文法をマスターした上で、易し目の英文を多読することを勧めたい。

2025年度一般選拔出題一覧

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期／ A日程 1月28日 問題▶P.20～	【Ⅰ】	評論	東畑開人『心はどこへ消えた？』 語句の意味、空欄補充、対義語、内容説明、理由説明、脱文挿入、内容図示、内容合致
	【Ⅱ】	評論	木村あや「武器としての市民科学を」 漢字（同音異義語）語句の意味、空欄補充、内容説明、脱文挿入、内容図示、構成・展開、内容合致
一般前期／ B日程 1月29日 問題▶P.112～	【Ⅰ】	評論	荒木博行『自分の頭で考える読書』 語句の意味、空欄補充、内容説明、脱文挿入、内容図示、構成・展開、内容合致
	【Ⅱ】	評論	中空萌「自然と知識 環境をどうとらえるか？」 漢字（同音異義語）語句の意味、空欄補充、内容説明、内容合致

傾向 すべて現代文からの出題 マークセンス5択の選択問題 難易度は標準レベル

1 出題形式

A日程B日程ともに現代文からの出題で、大問が2問、解答数は合計30問程度である。形式は5～6の選択肢から正答を選ぶマークシート方式の選択問題である。

読解問題としては、内容合致問題、傍線部の内容説明問題、理由説明問題、本文の内容を示した図の理解を問う問題、脱文挿入の問題などさまざまな形式の問題が出題されている。

2 出題内容

課題文はどの日程も、評論2題が出題されている。課題文は4ページでそれほど長くはなく、いずれも比較的読み易い。漢字はどちらの日程も大問Ⅱで5題出題されており、傍線部の漢字と同じ漢字を含む熟語を選ぶ問題であった。語句の意味を問う問題は、文脈の中で該当の語句が持つ意味を問うものであった。カタカナ語の正しい意味を問う問題も見られた。空欄補充問題は、本文の要旨を示した図の

中の空欄に当てはまる語句を選ぶもの、前後の内容を読み取ってその内容に合致する語句を選ぶもの、選択肢に挙げられている熟語などの意味をつかんで、文脈にもっとも沿う語句を選ぶもの、と多岐にわたる。A日程の大問Ⅰでは、本文の内容を絵で表してそれが何を指すのか問うものも見られた。

3 難易度

どの問題も標準レベルの問題である。漢字は正確に覚えていなければ間違えやすい同音異義語も出題されているが、基本的な知識が身につけていれば十分に対応できるものばかりである。語句の意味を問う問題も日常生活の中で目にする語句がほとんどである。ただ、文脈に照らして正しい意味を選ぶ必要があるため、その点は注意が必要である。内容合致問題や傍線部内容説明問題ではやや難しいものも見られたが、指示語の指す内容を押さえつつ、課題文を丁寧に読み進めていけば十分に対応可能である。

対策 漢字、語句の知識を確かなものにして、文章を丁寧に読む習慣をつけよう

1 漢字、語句の学習は徹底的に

先にも挙げたように、漢字、語句の意味の問題はそれほど難しくないので、ぜひ得点源にしてほしい。漢字は同音の漢字を含む熟語が多く出題されているので、その漢字の持つ意味（字義）を正しくつかんでおくことが必要である。語句の意味を問う問題でも、カタカナ語をはじめ、なんとなく知っているが正確な意味は理解していない、といった語句が多く出題されているので、日頃から気になった語句については、辞書で正しい字や意味を確かめる習慣をつけていこう。また、語句の意味を問う問題では、この文脈の中での意味が問われているので、辞書的な意味だけではなく、前後をしっかりと読み取ってここでの意味を考えることが求められる。

2 まずメモを取りながら丁寧に読み進めよう

課題文には空欄がかなり見られる。読みながら傍線部のある所や空欄に当たると、つついその場でその前後だけ読んで判断して、答えを見つけたくなりがちであるが、ここはぐっと我慢をして、まず課題文全体をじっくり読もう。全体の内容を把握した上でその傍線部が何を指しているか

考えていくとよい。傍線部説明問題や内容合致問題は、明らかに違うものを省いていくとともに、内容は誤りとはいえないが、課題文中では触れられていないものも省いていかなければならないので、丁寧に読み進める練習をすることが必要である。メモを取りながら読み進めるとよいだろう。

3 設問を落ち着いて読み、意図を正しくくみ取ろう

本文の内容を絵で表して、それが何を指すのか問う新しい傾向の問題も見られた。しかしこれに面食らうことなく落ち着いて読み進めれば十分に対応できる。また、間違っているものを選ぶ、という問いもある。設問が何を求めているのか、その意図を正しく掴んで対応していくことが求められる。

4 過去問をこなそう

似たような問題を繰り返し解いていくことで、読解力も向上する。入試本番で落ち着いて問題に向かうためにも、過去問をしっかりと解いてみて、設問形式などを体感しておこう。制限時間を計って、時間配分も考えていけるとよいだろう。

■ 2025年度一般選抜出題一覧

方式日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期/ A日程 1月28日 問題▶P.32~	第1問	東洋 古代・中世・近世史	西アジアの大帝国の歴史
	第2問	東洋 近世・近代史	明・清
	第3問	西洋 中世・近世・近代史	ハプスブルク帝国の歴史
	第4問	西洋 近代・現代史 【歴史総合】	冷戦の時代の諸地域の経済統合
一般前期/ B日程 1月29日 問題▶P.125~	第1問	東洋・西洋 古代史	古代における東地中海世界の歴史
	第2問	東洋 古代・中世・近世史	中国北方民族の歴史
	第3問	西洋 中世・近世史	西ヨーロッパ世界の膨張
	第4問	東洋 近代・現代史 【歴史総合】	第一次世界大戦と戦後の世界情勢

傾向 古代から現代までの政治史がメインで出題される

入学試験問題は、大問4つで小問数は合計40問、大問1つあたり10の小問で構成されており、解答形式はマークシート方式である。ただし、2025年度は、旧課程（世界史B）対応者と新課程（歴史総合、世界史探究）対応者に分けた選択問題があった。また、第4問は「歴史総合、日本史探究」との共通問題であった。いずれの日程でも時代・地域ともにバランスよく出題されており、古代から現代まで幅広く通史を学んでおく必要があるだろう。

出題分野に関しては、約8割が政治史からの出題で、残りの2割が文化史や経済史、および社会史などからの出題となっている。出題方法は、4択形式の語句選択問題と正誤文選択問題が中心である。2025年度入試では、語句選択問題の割合が約7割、正誤文選択問題の割合が約2割、その他に地図選択問題や年代配列問題が3問程度の出題となっており、こうした傾向は昨年度と変化はなかった。一

方で、語句と説明文の正しい組み合わせを選択する問題など、共通テストを意識しつつ受験生の理解度を試す出題上の工夫がみられる。また、新たに出題された歴史総合の分野でも、生徒たちが特定のテーマについて問いをたて、調査の結果として資料を作成するという場面が設定され、出題をその資料と関連させるといった工夫がみられた。

出題内容については、語句選択問題で「宣統帝」「WTO」などの重要な基本用語や、「アウステルリッツ（の戦い）」とライン同盟の正しい説明を組み合わせる問題などが出題されていた。また、正誤文選択問題では、「西ヨーロッパの封建社会」や「ヘレニズム」などの基礎的な出来事やテーマを丁寧に理解していないと解答できないような出題がみられた。

全体的な難易度としては、教科書の理解をバランスよく問う標準的な出題といえる。

対策 問題演習をくり返し行って幅広い出題に慣れること！

本学の入学試験問題の特徴を踏まえると、まずは教科書を中心に学習し、基礎的な語句を記憶すること。そして、問題演習を通して知識が定着しているかを常に確認する習慣をつける必要がある。以下、具体的な対策について紹介する。

① 時代や地域を幅広く学習し、基本語句を覚える

まずは通史学習においては教科書を中心に、高校の授業などで因果関係や時代背景を理解し、重要語句をサブノートなどにまとめ、地図問題への対策として資料集を用いて学習範囲の内容を視覚的に理解しよう。その際に、わからない語句が登場した場合は、『世界史用語集』（山川出版社）を使用して理解を深めると良いだろう。目標としては、最終的に教科書のある程度読んで理解できるようになるレベルをめざしたい。また、基本語句を覚えるためには、教科書、高校の授業で配布されたプリント、高校の先生の板書などをベースに、市販の問一答集を使用するのも効果的だと言える。また、語句だけでなくその語句を限定するための説明にも目を通すようにしよう。本学の入学試験問題は、重要語句同士の組合せ問題や語句とその説明を用いた正誤文選択問題が多いため、効果的な対策になると言える。

② 歴史総合を意識した出題に備える

歴史総合は日本を含む世界の近現代史を範囲とし、「近代化」「大衆化」「グローバル化」という3つの大きなテーマで構成されている。今後も、本学の入学試験においては、こうしたテーマを軸に日本を含む近現代史が出題される可能性がある。歴史総合の教科書を読み込む習慣も持つておこう。その際、語句の暗記だけに陥ることなく、日本を含む同時代の世界の動きに注目し、時代ごとの各地域の動向を大きくとらえるように意識したい。

③ 問題演習による知識の定着化をめざす

語句を覚えたと思ったら、問題演習を通じて実際に知識が定着しているかを確認しよう。市販の問題集などを使用し、正誤文判定問題を解くときは必ず誤文の根拠を明示すると良いだろう。答え合わせの際に、誤文の根拠があっていたかを確認しよう。こうすることによって、勘違いした知識や抜けていた知識を確認することができる。当然、語句選択（記述）問題を間違えた場合は、該当範囲の覚え直しをすることも忘れないようにしよう。問題演習を通じて、自分に足りない知識を明確にし、それを補うことが、本学の入学試験問題で合格点に近づくための最も有効な対策と言える。

歴史総合・日本史探究の傾向と対策

2025年度一般選拔出題一覧

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期／ A日程 1月28日 問題▶P.46～	第1問	古代の政治・文化史	大化改新（史料）・律令制の整備・国風文化
	第2問	中世の外交史、近世の文化史	室町時代の外交史、宝暦・天明期の文化
	第3問	近代の政治・外交史	幕末の外交史と政治史・日清戦争後から日露戦争
	第4問	近代・現代の外交・経済史	冷戦の時代の諸地域の経済統合
一般前期／ B日程 1月29日 問題▶P.139～	第1問	古代の政治・文化史	飛鳥文化・奈良時代の政治
	第2問	中世の政治史、近世の外交史	鎌倉幕府の滅亡から建武の新政、江戸時代初期の外交（史料）
	第3問	近代の政治・文化史	明治時代の諸法典編纂と初期議会・明治文化
	第4問	近代・現代の政治・外交史	第一次世界大戦と戦後の世界情勢

傾向 頻出は古代！近現代！そして文化史！

大問1が原始・古代、大問2が中世・近世、大問3と大問4が近現代の構成である。2025年度は大問4（歴史総合）と大問5（日本史B）のどちらかの選択であった。次年度は大問4の歴史総合分野のみになると予想される。なお、A日程・B日程ともに大問4は「歴史総合・世界史探究」との共通問題であった。

大問1は奈良時代や平安時代が多い傾向にあるが、2025年度は大化改新や飛鳥文化からの出題もあった。

大問2は2022年度以降、中世、近世それぞれ5問ずつの構成である。大問3や4は近代（第二次世界大戦終結以

前まで）の問題が多いが、2025年のA日程の歴史総合における問題は8問が第二次世界大戦後からの出題であった。B日程は近代、20世紀前半からの出題であった。

分野としては歴史総合から出題されるようになったため、世界史分野（または外交史）の割合が高くなる。政治史はもちろんだ多く出題されている。文化史も比較的出題される傾向であるが、経済史はやや少ない傾向である。

形式としては語句の選択問題が全体の約半分、次に正誤判定問題が約3割、語句などの組み合わせの選択問題が2割ほどである。並び替え問題も1～2問出題されている。

対策 基礎（一問一答）で落とさず、難問で差をつける

時代別で言えば、まず原始・古代をマスターすること。原始・古代から10問出題されていて、それでいて範囲はそれほど広くはない。古代については主要な天皇を軸にできごとをまとめよう。またそれぞれの天皇がだいたいどの時代の人物（たとえば8世紀の前半など）かも合わせて意識する。

政治に次いで、注意が必要な分野は文化史である。まず中心となった人物や寺院など、時期ごとにまずは大まかにまとめながら、個々の歴史用語を学習しよう。

次に近現代をマスターしたい。こちらは量が多いが、20問出題されるので、戦後史も含めてしっかり学習したい。2025年度の歴史総合からの出題では、日本史探究の学習でカバーできる設問は少なく、純粋な世界史分野からの出題が多いため、歴史総合もきちんと学習をしておこう。

最後に中世・近世である。2つの時代をあわせて大問1

つというボリュームだが、それぞれバランスよく学習する必要があることはもちろんである。近年では外交史が頻出なため対策は必須で、ついで政治史・文化史をおさえるようにしよう。

形式面で言うと、シンプルな選択式問題が多いことから、一問一答の形式でまず答えられるようにしておきたい。これができると自信がつく。自信がついたら、正誤判定問題も正答できるように励もう。正誤判定問題ができるようになるためにはできごとを「いつ・どこで・誰が・何をした」と正確に把握する必要がある。また「いつ」を押さえておけば並び替え問題にも対応できる。

最後に、文化史は早めに。文化史は「慣れ」なので、くり返せば絶対に得点できるようになる。苦手意識を克服して自発的に学習を進めてほしい。

2025年度一般選拔出題一覧

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期／ A日程 1月28日 問題▶P.58～	第1問	地方自治	地方議会と首長、団体自治と住民自治、直接請求権、地方分権の取り組みなど。
	第2問	政党と圧力団体、選挙制度	名望家政党と大衆政党、圧力団体の種類、政治資金規正法と政党助成法、選挙制度全般など。
	第3問	企業のあり方、市場機構、 市場の失敗	企業の社会的責任（CSR）、独占の形態、需要・供給曲線のシフト、寡占市場の特徴、市場の失敗など。
	第4問	財政	景気の自動安定化装置、財政政策、租税について、国債について、直接税と間接税、一般会計予算、所得の再分配など。
一般前期／ B日程 1月29日 問題▶P.151～	第1問	国家とは、民主政治の基本原則、 各国の政治制度	支配の類型、国家の領域、社会契約説、権力分立、歴史的権利文書、各国の政治制度、ポピュリズムなど。
	第2問	国際政治	国際社会の成立、国際司法裁判所と国際刑事裁判所、グロティウス、国際連盟の問題点、国際連合全般、軍縮条約、安全保障など。
	第3問	戦後の日本経済	GHQの経済民主化、高度経済成長期全般、第一次石油危機、日米貿易摩擦、バブル崩壊後の状況など。
	第4問	国際経済	リカードの貿易理論、為替レート、国際収支、GATTとWTO、リーマンショック、EU、地域的経済統合など。

傾向 全体的には「標準的」レベル ただし基本内容の正確な理解度を問う問題が多い

1 出題形式

A日程・B日程ともに、例年通り、小問10問からなる大問が4つ（計40問）出題されており、解答方式は全問マークシート方式であった。設問形式は、政治分野は用語の選択、文章中の空所補充、文章の正誤判定の3つが中心で、経済分野はそこに1問ずつぐらい、データの読み取りや計算問題が入ってくるというのが例年の傾向である。

2 出題内容

麗澤大学の入試問題に例年見られる出題傾向の特徴は、「毎年1問程度の資料データの読み取りや計算問題」、「カタカナ語とアルファベットの略称を多く出題」、「時事問題は少なめ」、「A・B両日程ともに政治分野2問、経済分野2問」、「両日程間で出題範囲の重複なし」などだが、これらが2025年度はどうだったか、見ていくことにする。

まず「毎年1問程度のデータの読み取りや計算問題」だが、2025年度は資料データも、計算問題も、需要・供給曲線の図も、一見すると1問も出題されていなかった。ただしA日程第3問中の「需要・供給曲線のシフト」の問題や、B日程第4問中の「為替レート」の問題などは、見た目は文の正誤判定だが、考える際にはグラフ・計算を必要とするので、注意が必要である。

次に「カタカナ語とアルファベットの略称（国際機関の名称など）を多く出題」についてだが、2025年度もA日程で計7問、B日程で計6問と多い。ただし、すべて標準的な難易度の用語ばかりなので、それを想定して語彙を増やしておけば、問題ないと思われる。

それから「時事問題は少なめ」だが、これは本当に少なく、A・B両日程ともに、ここ1～2年の最新時事からの出題は1問もない。ただし、リーマンショックや構造改革特区、イギリスのEU離脱やNAFTAからUSMCAへの組織名変更など、ここ10～15年ぐらいに起こった比較的新しい内容は割と出題されているので、くれぐれも普遍的な政経範囲の学習だけで止めてしまわないよう、気をつけてほしい。

それから「A・B両日程ともに政治分野2問、経済分野2問」だが、これも例年通り「政治分野2問、経済分野2問」と、バランスよく出題されていた。さらには「両日程間で出題範囲の重複なし」だが、こちらも例年通り重複範囲はなく、様々な単元からまんべんなく出題されていた。なので、受験勉強をする際も、どこかの範囲にやまを張るような勉強方法ではなく、すべての範囲を網羅する勉強の仕方を選ぶのがよいと思われる。

3 難易度

総合的にいうと「標準的」。具体的にいうと、A・B両日程とも、問題の作りそのものは素直で取りかかりやすく、問題の意味そのものがわからない類の問題は皆無である。だが、問われる内容は、カタカナ語やアルファベットの略称のレベルが高かったり、正誤判定で深めの内容理解を求めたりと、表面的な学習だけでは対応できない問題が多い。

つまり、「見た目は易しうだが、解いてみると案外難しい」タイプの問題が多いので、そこを総合的に考えて「標準的な難易度」と判断した。

対策 一問一答（用語集）・旧センター試験の過去問・資料集を使い、基礎の徹底に努めたい

1 基礎を効果的に身につける

カタカナ語やアルファベットの略称などの用語問題対策としては、一問一答や用語集の活用が有効である。また、内容理解を求める問題への対策には、学校教科書や資料集などを活用するのが効果的であると思われる。ちなみに一問一答は、ひねった出題をする大学や発展的な知識を問う大学、内容理解を求める出題をする大学対策には向かないが、麗澤大学のような「レベル高めの用語や記述ではあるが、あくまで学校教科書レベルをベースに作成した素直な出題形式」の大学対策には、かなり有効である。

2 旧センター試験の過去問も使おう

文の正誤を問うような内容理解問題には、旧センター試験の過去問で対策するのも効果的である。センター試験時代に

容理解は求めるが素直な出題形式」の正誤判定問題を出す大学の入試対策に、かなり役立つ。

なお、政治・経済の過去問は、あまりに古すぎると時事内容が風化してしまうこともあるので、普遍的な内容対策として使うのが効果的である。

3 資料集も使ってみよう

データ系資料の出題が少ない麗澤大学だが、資料集は単なるデータブックとは違い、憲法や裁判の判例、計算問題の解法なども掲載されている。政治・経済で受験する以上、資料集は時間さえあれば見る習慣をつけておきたい。

ただし資料集は、過去問同様古すぎると使えない。だから受験生には、必ず最新年度の資料集を使って学習することを求めたい。

物理の傾向と対策

2025年度一般選拔出題一覧

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期／ A日程 1月28日 問題▶P.70～	第1問	力学、電磁気、波動、熱力学	高さ与时刻のグラフ。直方体の転倒条件。動摩擦力の仕事。波のグラフと定在波の腹の位置。音波による距離の測定。理想的な変圧器。コイルの作る磁場とリングにはたらく力。
	第2問	力学	Aは見かけの重力加速度。Bは人工衛星の円運動と楕円運動。
	第3問	波動	くさび形の空気層での光の干渉。
	第4問	電磁気	2個の電源と3個の抵抗からなる直流回路。
一般前期／ B日程 1月29日 問題▶P.163～	第1問	力学、電磁気、波動、熱力学	力のつりあい。相対速度。鉛直面内の円運動。固定端反射の合成波。弦の振動。3個の抵抗からなる回路の合成抵抗。箔検電器の電荷。熱効率。
	第2問	力学	Aは一直線上の衝突と斜衝突。Bは直線部と円形部からなる道路を運動する車。
	第3問	波動	光ファイバーの原理
	第4問	電磁気	平行レール上を運動する導体棒の電磁誘導。

傾向 設定がシンプルで基礎的な問題が中心、用語や現象の理解と公式の活用が試される

試験時間は60分で、大問4題、総解答数24である。第1問が小問集合（力学、波動、電磁気、熱力学）、第2問が力学、第3問が波動、第4問が電磁気という構成である。各問題は設定がシンプルで状況が把握しやすい。問題の図は教科書や問題集で見かけるものが目につく。内容はいずれも基礎力を試すものであり、用語や現象の理解、公式を活用する力が問われている。

A日程の問題。第1問の小問集合は、鉛直投げ上げ運動する小球の高さと時刻の関係を表すグラフ、直方体が傾き始める直前にはたらく力、斜め上方に力を加えて動かす物体にはたらく動摩擦力の仕事、互いに逆向きに進む正弦波による定在波の腹の位置、音波の伝達時間による船と岸壁の間の距離の測定、理想的な変圧器の1次コイルの電圧と電流、コイルの作る磁場と近くに置いたリングにはたらく力、熱量と比熱、潜熱が扱われた。第2問はAが加速度運動する電車内での振り子と落下に関する問題、Bが地球の

周りの人工衛星の円運動と楕円運動に関する問題。第3問はくさび形の空気層での光の干渉に関する問題。明線条件、明線の間隔など典型的な問いからなる。第4問は2個の電源と3個の抵抗からなる直流回路の問題。キルヒホッフの法則の活用がポイント。

B日程の問題。第1問の小問集合は、2本の糸で吊るされたおもりにたらく力のつりあい、雨滴の落下の相対速度、斜面を滑り降りた物体の鉛直面内の円運動、三角波の固定端反射の合成波、弦の振動、断面積と長さが与えられた3個の抵抗の合成抵抗、箔検電器の電荷、熱効率が扱われた。第2問はAが一直線上の衝突および斜衝突を扱った問題。Bが直線部と円形部からなる道路上を走る車の運動に関する問題。第3問は光ファイバーの原理に関する問題。第4問は平行レール上を運動する導体棒に生じる誘導起電力に関する問題。

対策 教科書で基本事項を理解した後、基本問題を反復演習し、公式や解法を定着させることが効果的である

教科書レベルの基本事項をマスターしていれば高得点が狙える。ただし、教科書を読んだだけ、公式を覚えただけでは得点しにくい問題もある。そこで簡単な問題を繰り返し演習して、問題を読んだら手が動くくらいに練習しておけば時間内に余裕を持って完答できる。スポーツで言えば基礎体力作りが重要である。ランニングや腹筋・背筋運動など単純作業を繰り返すと体力がついてくるように、簡単な問題を繰り返し演習すると学力がついてくる。この段階で無理すぎるとやる気が無くなりがちである。初めは少

ずつ、調子が出てきたら段々量を増やして行こう。

問題を解くことに慣れてきたら、典型問題を中心に解き方を覚えていく。このとき、上手い解き方の真似をするのは良いが、丸暗記はしないこと。暗記した解法は自分でうまく使えないことが多い。したがって、「なぜ」「何のために」と考えて、自分なりに納得して進めていくことが大切である。

さらに、標準問題にも取り組み、問題文を読んで状況を理解する練習しておけば満点も可能な出題である。

化学の傾向と対策

2025年度一般選抜出題一覧

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期／ A日程 1月28日 問題▶P.78～	第1問	化学基礎・ 無機	イオン、分子の形、物質質量、同位体、化学反応の量的関係、窒素、カルシウム、金属イオン
	第2問	化学基礎	中和滴定、酸化還元滴定
	第3問	理論	結晶格子、気体の溶解、電池と電気分解
	第4問	理論・有機	反応速度と平衡、芳香族化合物、サリチル酸
一般前期／ B日程 1月29日 問題▶P.171～	第1問	化学基礎・ 無機	混合物の分離、イオン、化学結合、同位体、溶液の濃度、化学反応の量的関係、ケイ素、ナトリウム、金属イオン
	第2問	化学基礎	酸・塩基と塩、酸化剤と還元剤
	第3問	理論	蒸気圧、気体の法則、希薄溶液の性質、理想気体
	第4問	理論・有機	平衡の移動、溶解度積、脂肪族化合物、アルコール

傾向 さまざまな単元の問題が出題される

1 出題形式

大問が4題出題され、第1問の一部と第2問は「化学基礎」から、第3問と第4問の一部が「化学」の理論分野から、第1問の一部が無機分野から、第4問の一部が有機分野から出題される。第1問は小問集合の形式での出題である。第2問以降はA、Bと2つの中間に分かれており、それぞれ異なるテーマの問題が出題される。解答はすべてマークシート方式で、解答数は28となっており、その内訳が第1問は解答数10、その他の大問は解答数6となっている。知識選択問題と計算問題の他に、誤りを含むものや正誤の組み合わせを選ぶような正誤問題が出題される。

2 出題内容

第1問は小問集合であり、問1～7は「化学基礎」から、問8、9、10は「化学」の無機物質からの出題である。さまざまな内容、形式の問題がまんべんなく出題されるが、そのうち4問は計算問題が出題され、正誤問題も出題されている。

第2問はA、B日程ともに、酸と塩基、酸化還元反応か

ら出題されており、特に、中和滴定や酸化還元滴定など、実験に関する出題が目立つ。滴定実験からの出題は今後も予想されるため、しっかり対策しておきたい。

第3問は「化学」の理論分野からの出題であり、出題内容も気体、溶液、結晶、電池・電気分解などさまざまである。これら分野は今後も出題が予想されるため、手厚く対策しておいた方が良好だろう。

第4問は問題Aの一部が反応速度と平衡、問題Aの残り問題Bが有機化合物からの出題である。問題Bでは構造式に関する問題が出題されている。また、全体のところどころに図を読み取る問題が出題されているため、さまざまな形式の問題に慣れておく必要がある。

3 難易度

問題の大部分は教科書の例題や章末問題のような基礎から標準レベルの問題が出題されているが、正誤問題などのように、知識を利用して解く問題も出題されているため、細かい部分まで確認しておくなどの対策が必要である。

対策 教科書の内容をきちんと学習しよう

1 教科書の内容を正確に理解しよう

問題はいずれも基礎から標準レベルの問題であるため、教科書内容を学習し、基礎力をつけておく必要がある。当然、覚えるべき内容はしっかり暗記し、知識をつけることが最も重要であるといえる。

2 計算問題、正誤問題の対策をしよう

計算問題については、教科書の例題や章末問題レベルの問題が多く出題されているため、教科書を読み各単元の計算問題の解法を理解し、問題をこなすことで解法を定着させていくと良好だろう。また、正誤問題については、知識

をつけた後、問題をこなすことで形式に慣れていく必要がある。勉強するときは、それぞれの選択肢について、どこがどのように誤りなのか説明できるようにしていこう。

3 過去問演習を通して問題に慣れよう

一通り教科書学習を終えた後は、過去問を使った演習を行うことで問題に慣れていこう。問題を解くことで、教科書の内容を復習し、間違えた問題には、試験本番に正解できるようにしっかり復習しておこう。また、計算問題や正誤問題など、苦手意識をもつ単元については、教科書を読み直す、問題を解くなどを繰り返し、苦手意識をなくそう。

2025年度一般選拔出題一覧

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期／ A日程 1月28日 問題▶P.87～	【Ⅰ】	情報社会の問題解決、 コミュニケーションと情報デザイン	小問集合（知的財産権、個人情報、情報デザイン、HTML、16進数、 拡張子）
	【Ⅱ】	情報通信ネットワークとデータの活用	小問集合（ISP、OSI参照モデル、ドメイン、クラウドコンピューティング、 相関関係）
	【Ⅲ】	コンピュータとプログラミング	Pythonに関する用語、フィボナッチ数を求めるプログラム
	【Ⅳ】	コンピュータとプログラミング	BINGOゲームプログラムの実装、シミュレーション
一般前期／ B日程 1月29日 問題▶P.180～	【Ⅰ】	情報社会の問題解決、 コミュニケーションと情報デザイン	小問集合（知的財産権、個人情報、ネットワーク、ウェブページ、情報 デザイン、音のデジタル表現、インタフェース）
	【Ⅱ】	情報通信ネットワークとデータの活用	小問集合（プロトコル、ネットワークの構造、メールの送受信、プログ ラミング）
	【Ⅲ】	コンピュータとプログラミング	テストの成績を処理するプログラム
	【Ⅳ】	コンピュータとプログラミング、 情報通信ネットワークとデータの活用	素数判定プログラム、ネットワークの構成、問題解決

傾向 基本～標準問題で構成された問題群 実際の問題解決の場を想定した設問も登場

A日程、B日程ともに易しめ～標準の問題で構成されている。分量も、60分の試験時間内で十分に思考し、解答しきれぬ量になっている。

問題文の長さも標準からやや短めだが、珍しい知識を問う問題も散見され、高得点を狙おうとすると苦勞するかもしれない。

A日程、B日程ともに、【Ⅰ】が知的財産権やデジタル化に関する小問集合、【Ⅱ】が情報通信ネットワークに関する小問集合であった。ほぼ全ての問題は、教科書にある基本知識を押さえれば解答できるものであったが、A日程では、【Ⅱ】でOSI参照モデルに関する問題が出題された。OSI参照モデルは、記載のない教科書も多く、戸惑った受験生もいたのではないだろうか。

【Ⅲ】は、両日程でPythonによるプログラムが出題された。A日程ではフィボナッチ数列、B日程ではテストの成績処理に関する問題が出題された。いずれもプログラミングでは頻出の題材であったので、Pythonになじみがない受験生でも解答できたのではないかと。

【Ⅳ】は、A日程では【Ⅲ】に引き続き、題材を変えてプログラミングが出題され、B日程ではそれに加えて、情報通信ネットワークと問題解決について問われた。

全体を通して基本的な知識と思考力を有していれば高得点を取れる問題セットとなっていた。しかし、「オプトイン」やHTMLの記法（タグ）を答えるといったように、教科書にとらわれない、情報社会に関する多様な知識を要求する問題も一部含まれていたためその点は注意したい。

対策 教科書にある基本事項を何より大切に！実践経験も鍵になる

本学の問題は、知識、計算のいずれの面でも、基本事項といえる内容を中心に出题されている。そのためまずは教科書を丁寧に読み、出てくる内容を理解することが先決である。その際は、語句を単に覚えるのではなく、どのような文脈で使われるかを、実際に使われている場面も含めて体系立てて覚えるようにすると、より知識の定着が図れる。問題演習は、教科書を読み進めながら合間合間に行うと、それまでの知識が定着できているかを確認できて効果的である。

知識を習得した後は、教科書の章末問題などで、情報1でよく使われる計算、例えば1バイト＝8ビットのような単位変換や、2進数、10進数、16進数の相互変換などに慣れておこう。

また教科書レベルの知識を身につけることはもちろん大切だが、それに加えて「実践経験」を積むことも大切にしてほしい。本学では知識の実用的な運用がよく問われるの

で、日常生活で直面する問題をどう解決するかを考えると、いったように、「情報」という教科書を机上での学習で終わらせず、身の回りの生活と積極的に関連付けられるようになるとよい。その実践経験が、特に問題解決法、シミュレーション、プログラミングに関する問題を解く際に、状況設定を素早く把握するための手助けになってくれるだろう。

本年より出題されたプログラミングはPythonで記述されていた。コードを自力で記述できる程度まで熟知する必要はないだろうが、記法や基本的なコードなどは慣れ親しんでおくことよい。また、HTMLやCSSに関する問題も出題されたので、基本的なタグについても学習しておく、さらに高い得点を狙えるだろう。

加えて、統計グラフの読み取りに関する問題は本年度は出題されなかったが、出題範囲には含まれているので、注意が必要である。

■ 2025年度一般選抜出題一覧

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期/ A日程 1月28日 問題▶P.95~	【I】	小問集合	無理数の計算、絶対値の計算、集合、必要十分条件
	【II】	2次関数	対話形式の応用問題、最小値、2次方程式
	【III】	三角比と図形	円に内接する四角形、余弦定理、外接円の半径、面積比
	【IV】	データの分析	平均値、分散、散布図、箱ひげ図
一般前期/ B日程 1月29日 問題▶P.190~	【I】	小問集合	式の値、連立不等式、集合、必要十分条件
	【II】	2次関数	平行移動、解の配置、限定区間の最大値
	【III】	三角比と図形	tan を利用して鉄塔の高さを求める対話形式の問題
	【IV】	データの分析	散布図、箱ひげ図、相関関係

傾向 基本から標準レベルだけでなく難しい問題もあり、問題の量がやや多い

大問4問の構成内容は毎年同じである。このところ、大問の【II】または【III】で共通テストのような対話形式の問題文が見られる。

難易度は、大半は基本から標準レベルである。中には少し難しい、かなり難しいものもあり、三角比やデータの分析の後半によく見られる。

【I】 小問集合：絶対値のついたものが頻出である。1次不等式や2次不等式などが解けないようでは困る。

集合は補集合、和集合、積集合など、ベン図を駆使できなければならない。

必要十分条件はよく考えなければならないものもあり、条件を的確にとらえる必要がある。

【II】 2次関数：平行移動、最大最小、解の条件などが問

われるが、ほぼ基本から標準問題である。

【III】 三角比と図形：正弦定理、余弦定理、面積計算など基本問題が多い。後半に難しい設問があることがある。

2023年度のB日程で立体が出題された。やりにくさを感じた受験生も多いだろう。

【IV】 データの分析：箱ひげ図・散布図の読み取りなどは標準的だが、相関係数の計算が出るとやや面倒。データの変換、データの追加後の変化を問う問題などは練習していないと難しい。

試験時間60分に対し問題の量はやや多く、要領よく易しい問題を終えることが重要だ。

対策 難問をこなすのではなく、基本から標準レベルの問題を確実に解く練習をしておきたい

頻出分野を重点的にやっておく。

小問集合の無理数の計算、1次不等式、絶対値、集合、必要十分条件は確実にしておきたい。集合や必要十分条件は少し紛らわしいこともあるので十分に勉強しておきたい。

2次関数では、文字を含んだ2次関数の最大最小問題を徹底し、グラフや解の配置の問題を十分にやっておきたい。

三角比では、正弦定理、余弦定理、面積の計算の問題を十分に練習する。定型的解法が最初に出てくるので、ここで点を落としてはならない。

データの分析では、箱ひげ図や散布図の読み取りに慣れておくこと、分散、相関係数の計算の要領を身に付けておくことが必要である。変数の変換は少し難しいが、出題さ

れるので、どのような変換でどのように変わるのか、できるだけ知っておきたい。

選択肢を選ぶ問題なので、その練習には過去問演習が欠かせない。時間配分を考えながら過去問をやっておくことは有効である。対話形式では問題文を読む時間を考えなければならないので、過去問演習は欠かせない。難問に深入りはせず、易しいものを確実に解いていくことを優先するが、選択肢なので難問の正解を推定することも大事である。また、計算ミスはマークシート式においては致命的であると心得て、ミスをしたら必ずやりなおし、何を間違えたのかを確認することで同じミスをしないよう、練習しておこう。

》数学 I・A・II・B・C の傾向と対策

■2025年度一般選拔出題一覧

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
一般前期／ A日程 1月28日 問題▶p.100～	【I】	小問集合	無理数の計算、2次関数、三角比と図形、確率
	【II】	小問集合	円の接線の方程式、三角関数の値、指数・対数方程式、数列の和
	【III】	ベクトル	平面ベクトルの内積、垂直条件
	【IV】	微分積分	3次関数の極値、面積（対話形式）
一般前期／ B日程 1月29日 問題▶p.195～	【I】	小問集合	無理数の計算、2次関数の最大最小、三角比と図形、条件付き確率
	【II】	小問集合	領域と最大最小、三角関数の値、常用対数、ベクトルの内積
	【III】	数列	漸化式（対話形式）
	【IV】	微分積分	3次関数、方程式の解の個数、面積

傾向 II B・C の比重が増えた

この科目は昨年度から始まり、今年度は昨年度とほぼ同じような出題だが、II B・C の比重が増えた。すべて答を選択肢から選ぶマークシート方式の問題で、時間は60分である。

難易度は大半は基本から標準レベルである。

出題内容は、【I】【II】が小問集合。【I】は数学 I A の内容で、A、B 日程とも同じ分野からの出題。

【II】は数学 II、と数列またはベクトル、という出題で、【III】【IV】と合わせてほぼすべての分野からの出題となる。

【III】は数学 B、C の内容で、A 日程はベクトル、B 日程は数列だった。ベクトルは平面ベクトルの基本、数列は S_n を含む漸化式の問題だった。この数列はやり方さえ

知っていれば基本問題であった。

【IV】は微分積分で、A 日程、B 日程ともに3次関数を材料とした出題で、面積を計算するものである。

大問4問のうち I A が1問、II B・C が3問だから、全体として、II B・C の比重が高く、昨年度は I A と半々だったので、変更されたようだ。

なお A 日程の【IV】、B 日程の【III】は共通テストのような対話形式の問題文になっている。

特に難しい問題は無いが、60分ですべてやり終えるには分量が多いと思われる。計算スピードも問われているようだ。

対策 難問をこなすのではなく、基本から標準レベルの問題を確実に解く練習をしておきたい

ともかく基本的解法を身につけておく。

【I】は数学 I から無理数の計算、2次関数、三角比と図形、数学 A から確率となっており、これを重点的にやっておけばよい。いずれも典型問題なので、基本的な定型問題をたくさんやっておくことだ。

【II】では数学 II の微分積分以外と大問にされていないベクトルか数列が出題されるので、数学 II の図形と方程式、三角関数、指数・対数の基本レベルの習得が不可欠である。分量的に負担に感じるかもしれないが、やはり基本的な定型問題を十分に演習しておきたい。

大問【III】は数列かベクトルで、いずれも基本的な入試問題である。ベクトルは平面ベクトルを中心に、数列は典型的な漸化式の解法まで、どのような出題にも対応できるよう、基本問題に習熟しておきたい。

【IV】は A、B 日程とも微分積分で、面積の問題が出題されている。少し考えにくい設問もあったので、面積計算の典型パターンを確実にこなせるようにしておきたい。計算方法の習熟も求められる。

今年度で出題の傾向が定まったかどうかはまだ不明である。すべての分野について、基礎知識の徹底を心がけなければならない。

マークシート方式なので計算ミスは致命的である。日頃から計算ミスをしたら必ずやり直し、どこでミスをしたのかを確認しておきたい。

時間配分も考えて解かなければ時間が足りなくなるので、過去問を時間を見ながら演習しておくことも必要である。

2025年度入学試験問題 解答

一般前期 / A日程

英語		国語		世界史		日本史		政治・経済		物理		化学		情報		数学 I		数学 I・A・II・B・C	
解答 番号	解答 例	解答 番号	解答 例																
1	④	1	①	1	①	1	④	1	①	1	②	1	②	1	④	1	②	1	①
2	④	2	③	2	④	2	③	2	④	2	①	2	②	2	②	2	②	2	④
3	①	3	⑤	3	②	3	②	3	①	3	②	3	⑤	3	③	3	①	3	⑥
4	①	4	④	4	①	4	④	4	②	4	⑤	4	④	4	①	4	③	4	①
5	④	5	①	5	②	5	①	5	⑤	5	②	5	①	5	②	5	④	5	③
6	③	6	③	6	③	6	①	6	②	6	③	6	③	6	②	6	④	6	⑤
7	①	7	①	7	③	7	③	7	④	7	②	7	⑤	7	②	7	②	7	④
8	③	8	⑤	8	④	8	②	8	③	8	⑤	8	⑦	8	③	8	④	8	②
9	①	9	③	9	②	9	①	9	⑤	9	③	9	④	9	②	9	④	9	④
10	④	10	①	10	③	10	④	10	③	10	⑥	10	②	10	③	10	⑤	10	④
11	④	11	②	11	④	11	④	11	③	11	②	11	③	11	④	11	⑤	11	②
12	④	12	④	12	①	12	②	12	①	12	①	12	⑥	12	④	12	⑤	12	④
13	②	13	④	13	②	13	③	13	②	13	①	13	③	13	②	13	⑥	13	④
14	②	14	③	14	③	14	③	14	②	14	②	14	②	14	④	14	②	14	⑤
15	③	15	⑤	15	②	15	④	15	④	15	⑥	15	④	15	②	15	⑥	15	③
16	④	16	①	16	③	16	②	16	④	16	⑥	16	④	16	④	16	④	16	②
17	⑦	17	②	17	①	17	④	17	②	17	④	17	⑥	17	①	17	⑧	17	①
18	④	18	④	18	②	18	③	18	①	18	③	18	②	18	①	18	②	18	③
19	⑤	19	②	19	④	19	②	19	④	19	⑤	19	④	19	④	19	⑦		
20	⑤	20	⑤	20	③	20	①	20	③	20	①	20	⑤	20	①	20	①		
21	③	21	③	21	①	21	①	21	①	21	①	21	⑥	21	①				
22	③	22	①	22	④	22	②	22	①	22	④	22	②	22	③				
23	②	23	⑤	23	②	23	①	23	⑤	23	③	23	④	23	①				
24	④	24	⑥	24	④	24	⑤	24	②	24	⑤	24	⑥	24	③				
25	③	25	②	25	②	25	③	25	③			25	③	25	①				
26	①	26	④	26	③	26	④	26	④			26	⑥	26	③				
27	③	27	②	27	①	27	①	27	④			27	⑥	27	①				
28	①	28	④	28	③	28	①	28	⑥			28	④	28	④				
29	④	29	④	29	⑥	29	③	29	②					29	①				
30	④	30	⑤	30	③	30	①	30	①					30	①				
31	③	31	④	31	③	31	③	31	②					31	④				
				32	④	32	④	32	③										
				33	④	33	④	33	③										
				34	②	34	②	34	③										
				35	②	35	②	35	②										
				36	③	36	③	36	①										
				37	④	37	④	37	③										
				38	①	38	①	38	⑤										
				39	③	39	③	39	③										
				40	①	40	①	40	⑥										
				41	②	41	①												
				42	③	42	③												
				43	②	43	④												
				44	①	44	②												
				45	③	45	②												
				46	①	46	①												
				47	④	47	④												
				48	②	48	②												
				49	④	49	③												
				50	①	50	③												

傾向と対策

A日程

B日程

解答

2025年度入学試験問題 解答

一般前期 / B日程

英語		国語		世界史		日本史		政治・経済		物理		化学		情報		数学 I		数学 I・A・II・B・C	
解答 番号	解答 例	解答 番号	解答 例																
1	①	1	②	1	④	1	①	1	④	1	④	1	⑤	1	③	1	⑤	1	⑥
2	④	2	①	2	①	2	④	2	④	2	④	2	④	2	③	2	②	2	②
3	③	3	④	3	③	3	②	3	④	3	③	3	③	3	①	3	⑤	3	⑥
4	②	4	⑤	4	①	4	①	4	①	4	⑤	4	①	4	②	4	②	4	⑤
5	④	5	①	5	②	5	③	5	④	5	⑤	5	③	5	③	5	②	5	③
6	④	6	④	6	①	6	④	6	②	6	③	6	②	6	③	6	⑤	6	③
7	②	7	①	7	②	7	①	7	②	7	①	7	②	7	④	7	⑦	7	⑥
8	②	8	④	8	④	8	②	8	④	8	④	8	③	8	③	8	④	8	③
9	④	9	④	9	③	9	③	9	③	9	②	9	②	9	④	9	⑤	9	③
10	①	10	⑤	10	③	10	②	10	②	10	⑤	10	⑥	10	②	10	③	10	⑥
11	②	11	⑤	11	④	11	④	11	①	11	⑤	11	⑦	11	②	11	⑥	11	③
12	③	12	③	12	①	12	③	12	③	12	②	12	④	12	①	12	④	12	④
13	②	13	①	13	④	13	②	13	②	13	⑥	13	③	13	③	13	③	13	⑤
14	③	14	③	14	③	14	①	14	②	14	③	14	①	14	④	14	⑥	14	⑤
15	①	15	②	15	③	15	③	15	①	15	⑥	15	③	15	②	15	②	15	④
16	②	16	④	16	②	16	②	16	④	16	②	16	⑦	16	③	16	③	16	③
17	④	17	③	17	④	17	④	17	⑤	17	②	17	②	17	③	17	①	17	③
18	⑧	18	③	18	①	18	③	18	④	18	①	18	⑤	18	②	18	②		
19	⑦	19	⑤	19	②	19	②	19	④	19	③	19	①	19	②	19	⑥		
20	⑦	20	②	20	③	20	③	20	②	20	⑤	20	⑥	20	②	20	④		
21	⑦	21	④	21	④	21	④	21	③	21	③	21	④	21	④				
22	②	22	②	22	③	22	②	22	⑤	22	⑦	22	④	22	②				
23	②	23	②	23	①	23	③	23	①	23	②	23	⑥	23	①				
24	③	24	⑤	24	①	24	①	24	⑤	24	④	24	⑧	24	③				
25	②	25	③	25	②	25	①	25	②			25	⑤	25	①				
26	②	26	①	26	②	26	④	26	②			26	④	26	④				
27	①	27	③	27	④	27	②	27	②			27	②	27	③				
28	③	28	①	28	③	28	⑥	28	④			28	②	28	①				
29	③	29	⑤	29	①	29	①	29	①					29	①				
30	①			30	⑤	30	③	30	③					30	①				
31	②			31	④	31	④	31	①					31	②				
				32	①	32	①	32	③					32	④				
				33	③	33	③	33	③					33	②				
				34	④	34	④	34	②					34	②				
				35	③	35	③	35	④					35	④				
				36	③	36	③	36	①					36	④				
				37	①	37	①	37	④										
				38	②	38	②	38	③										
				39	③	39	③	39	⑤										
				40	④	40	④	40	①										
				41	②	41	②												
				42	①	42	②												
				43	④	43	④												
				44	③	44	①												
				45	①	45	③												
				46	④	46	①												
				47	②	47	②												
				48	②	48	②												
				49	③	49	④												
				50	②	50	③												

傾向と対策

問題

解答